

(別紙)

### 田植えの進捗状況（5月19日現在概況速報）について

中央農業改良普及センター 県域普及グループ

各農業改良普及センターでは5月19日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

#### 【調査結果】

- 5月19日現在、県全体の田植え進捗率は62%である。直近3カ年と比べもっとも進みが遅いが、今後は好天が予想され、田植え準備も進んでいることから、適期内（5月15日～25日）に田植え終期を迎えると見込んでいる。
- 地帯別の田植え進捗率は、北上川下流は76%であり田植え終期に近づいている。また、東部は52%で田植え盛期を迎え、北上川上流は37%、北部は7%で田植え始期に達していない。

表1 地帯別田植えの進捗状況（5月19日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	同時期				田植え時期（月/日）								
	進捗率（%）				本年（月/日）			平年			平年差（日）		
	本年	H28	H27	H26	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	37	52	58	43	(5/16)			5/16	5/20	5/26	(0)	-	-
北上川下流	76	81	83	80	(5/9)	(5/14)		5/11	5/15	5/21	(-2)	(-1)	-
東部	52	73	83	68	5/11	(5/17)		5/11	5/16	5/22	0	(+1)	-
北部	7	10	24	21				5/19	5/24	5/27	-	-	-
県全体	62	70	74	68				5/12	5/17	5/23	-	-	-

- 注) 1 平年値は平成19年～28年の10カ年の平均値  
2 始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了  
3 括弧内の数値は未確定市町村があるため推定値

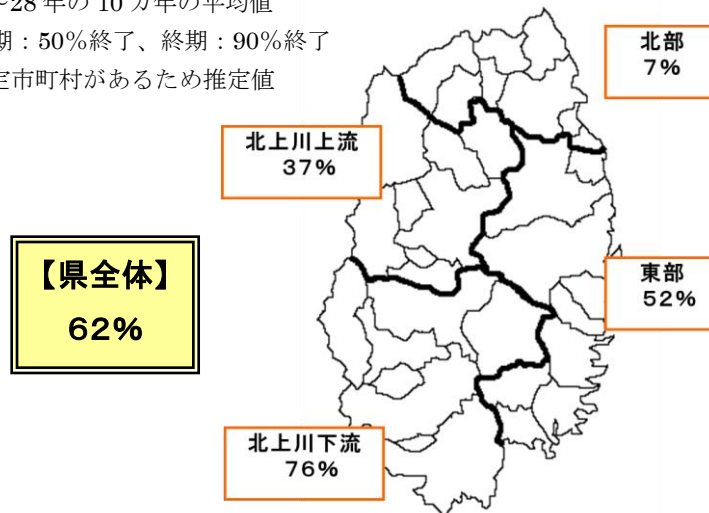


図1 地帯別田植え進捗率（5月19日調査：各農業改良普及センター調べ）

#### 【栽培管理のポイント】

- 田植え直後は植え傷みにより苗の吸水力が低下するので、活着までは蒸散防止のためやや深めの水管理（葉先が2～3cm水面から出る程度）とする。
- 活着後は分けつ発生を促進するため2～3cmの浅水とし、水温の上昇に努める。ただし気温が15℃以下の寒い日は、葉先が出る程度のやや深めの水管理とする（低温でも日照があり風の無い日は、日中は浅水にして水温の上昇をはかる）。
- 入水は気温と水温の温度差が少ない朝方や夕方に行い、日中は水を動かさないこと。